

## 平成30年度中学生意見交換会

### 理想の学校生活を目指し

1月24日、市役所で平成30年度中学生意見交換会が行われました。意見交換会は、生徒会活動の活性化や健全育成を図るため毎年開催。市内8校の生徒会役員24人が参加し、生徒会活動や情報モラルについてグループ協議や全体協議を行いました。議場で行われた全体協議では、「情報モラルについて～SNSとの上手な関わり方とは」をテーマに活発な議論を交わしました。



## 大船渡市さんま焼き師認定試験

### さんまで広がる交流の輪

1月30日、市民体育館で本年度2回目となる大船渡市さんま焼き師認定試験が行われました。認定試験には、市内飲食店経営者や市外自治体職員など24人が参加し、さんまの焼き方に関する実技試験とさんまにまつわる筆記試験を実施。参加者は、炭火のおこし方や火加減の調節にとまどいながらも、こんがりふっくらと焼きあげたさんまを満足げにほおぼっていました。



(7) 広報大船渡 31.3.5(No.1146)

## 大船渡市子ども郷土芸能まつり

### 地域の伝統を見事に披露



1月27日、三陸公民館で8回目となる大船渡市子ども郷土芸能まつりを開催しました。まつりには、浦浜子ども念仏剣舞、前田子ども鹿踊り、赤澤子ども鎧剣舞、甫嶺子ども獅子舞の4団体のほか赤崎保育園が特別出演。地域の伝統を受け継ぐ子どもたちが、華麗で堂々とした舞や踊りを披露し、来場者からは、そのたくましい姿に拍手が送られました。

## おおおふなとクラフトワーク展2019

### 多彩な手工芸品が大集合



2月23、24日、リアスホールでおおおふなとクラフトワーク展2019が開かれました。今回で11回目を迎える同展には、県内外から61団体・個人が陶芸・木工芸・竹細工・ガラス工芸・編み物・パッチワーク・布小物などを出展。訪れた人は、多種多様な展示や体験教室を楽しみ、販売ブースは手づくり作品を買い求める人でにぎわいました。

## トピックス 1

### 大船渡ビジネスプランコンテスト2018最終審査会・表彰式

1月27日、リアスホールで最終審査会が行われ、応募32組の中から最終審査会に進んだ10組27人が、約130人の来場者を前に、熱いプレゼンテーションを繰り広げました。

自分たちで試作したスイーツを来場者に振る舞った大学生や、プラン実現のためにサポートを呼び掛けた高校生など、おのこの工夫を凝らしたアピールが、会場を大いに盛り上げました。

大船渡や気仙地域の魅力をつくる、出場者たちの今後の動きにもご注目ください。コンテストの様子や、審査結果などをホームページで公開しています。



①高校生の部では大船渡東高校ツバキ利活用研究班が最優秀賞を受賞  
②大船渡を盛り上げるアイデアに共感する来場者



## トピックス 2

### 津波時における一時避難施設使用に関する協定調印式

2月12日、市役所で、協同組合南三陸ショッピングセンターと本市との間で「津波時における一時避難施設としての使用に関する協定調印式」を行いました。

本協定は、津波発生の恐れがあり、高台への避難が間に合わない場合、盛町のサン・リアショッピングセンターの3階駐車場と屋上駐車場を一時的な避難場所として開放するものです。

市では、防災観光交流センター、災害公営住宅の市営野々田アパート、県営みどり町アパートを津波時の一時的な避難施設として指定しています。



①防災体制の強化を誓う門田崇代表理事(左)と戸田市長  
②民間施設では初めて津波避難ビルとして指定されたサン・リア

## トピックス 3

### 大船渡市生涯学習推進のつどい

2月16日、リアスホールで、「伝統の継承から地域の未来を考える」をテーマに、平成30年度大船渡市生涯学習推進のつどいを開催しました。

つどいは、市内の生涯学習関係者が情報交換や先進事例を学び合い、事業・活動の改善を目的に毎年開催。冒頭では、公民館活動に尽力した地域公民館の役職員11人に、小松伸也教育長が感謝状を贈呈しました。続いて、綾里中学校の及川正宏副校長が、同校の剣舞・ささら(権現様)の取り組み事例を紹介。記念講演では、作家の荒俣宏さんに、「文化が彩る地域の個性と魅力」と題して講演いただきました。



①「吉浜のスネカ」をはじめ、来訪神など地域文化について講演する荒俣宏さん  
②取り組み事例を発表する及川正宏副校長